

第一回アジアヒートポンプネットワークミーティングの開催 (Asian Heat Pump Network Meeting)

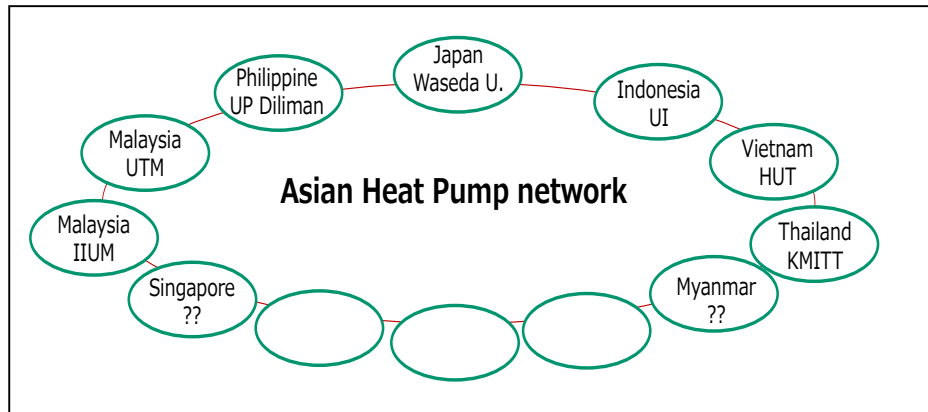
「環境エネルギーネットワーク 21」主任研究員 西場 徳二

2016年5月25日、第一回アジアヒートポンプネットワークミーティングが早稲田大学基幹理工学部
の齋藤教授が中心になり、早稲田大学西早稲田キャンパスで開催された。



アジア各国からの参加者（中心に映っているのが早稲田大学の齋藤潔教授）

最近の環境問題やエネルギー問題に関して、ヒートポンプ技術は最も重要な技術の一つであり、この度アジア各国のヒートポンプ学識経験者が一同に介し、各国における最近のヒートポンプ技術紹介や使用方法について活発な意見の交流を行った。この技術は、エアコン、コールドチェーン、温水器、生産技術への応用、食品加工、その他広範囲な分野に応用されている。しかし、アジア各地では、東南アジアにおいては一年を通して高温多湿、日本においては春夏秋冬の気温の変化が大きいなど気候の違いがあり、また、ヒートポンプの利用方法にも違いなどがある。各国のこれらの相違点に対応したヒートポンプ技術の最適化は重要な課題となっている。このような課題を共有し問題点を明確にするため、アジア各国の学識経験者が集まり、講演、討議、研究室の見学など活発な意見交流を行った。参加者はタイ、ベトナム、フィリピン、マレーシア、インドネシア各国の研究者や日本の関連団体、企業関係者等約80名だった。



アジアヒートポンプネットワークのイメージ図

(アジアの各国の研究者が環境問題の解決のために連携を取って活動していくためのネットワークを構築する)

開会の挨拶は早稲田大学基幹理工学部長の太田教授が行い、講演者と講演内容は次のとおり。

日本からは NEDO、ヒートポンプ・蓄熱センター、日本冷凍空調工業会が参画し下記の特別講演を行った。

- 特別講演 1 ヒートポンプの技術における最近の R & D の概要
Mr. Shigenobu Watanabe (NEDO)
- 特別講演 2 ヒートポンプと日本蓄熱技術センターの概要
Mr. Hiroshi Okumura (Heat Pump & Thermal Storage Technology Center)
- 特別講演 3 ヒートポンプ技術と次世代冷媒
Mr. Tetsuro Kishimoto (JRAIA , ENET21)
- 基調講演 1 冷房、給湯、除湿に対するヒートポンプシステム
Prof. M. N. A. Hawlader (International Islamic University of Malaysia)
- 基調講演 2 インドネシアにおけるヒートポンプの現状と動向
Assoc. Prof. Nasruddin (Universitas Indonesia)
- 基調講演 3 タイにおけるヒートポンプの研究と現状
Dr. Amomrat Kaewpradap (King Mongkut's University of Technology Thonburi)
- 基調講演 4 ベトナムにおける “State-of-the-Art Heat Pump Technology”
Assoc. Prof. Pham Hoang Luong (Hanoi University of Science and Technology)
- 基調講演 5 マレーシアにおけるヒートポンプの応用—シナリオ
Assoc. Prof. Nazri bin Kamsah (Universiti Teknologi Malaysia)
- 基調講演 6 フィリピンにおけるヒートポンプ設計と製造および業務用加熱システムに対するヒートポンプ利用の可能性
Assoc. Prof. Menandro S. Berana (University of the Philippines-Diliman)

討議

「ヒートポンプネットワークをどのように広げるか」

討議の参加者は各国の研究者（講演者）や関連団体、企業関係者であり、約1時間熱心な意見交流がなされた。今後の進め方として、各国の研究者や企業が環境問題の解決のために連携を取って活動していきたいという事で討議を終了した。

最後に、齋藤研究室の紹介と研究室の見学を山口先生、大野先生が行った。



講演者の様子（ Mr. Tetsuro Kishimoto JRAIA,ENET21）



討議の様子（活発な意見交流が行われた）